

36

一字一調丁字... 一首一行半ニ書き流シ...

1915 19字話

私は明治二十五年に日本橋の鬼町で生れ

十歳の五月までそこに育つた。二面が川

にのぞんでいたところから設計者の辰野金

吾博士（辰野隆博士先考）イタリイのウエ

ネチアを思ひ出されたり日本にたつた

一つしかないウエネチア・ゴチツクの様式

用いられた。何しろ起工が明治十

九年で例の鹿鳴館の欧米詠歌主義の名

跡が濃めたり。家全体が純粋な洋館だった

家具調度品やはり鹿鳴館好みの当時として

のはもちろんだ。その他

（家具調度品）

新月原稿用紙

三沢永乃雄

15